

今回は、宇宙航空研究開発機構・内山崇氏の講演会の報告です。

◇ 日本を代表する宇宙エンジニア、内山崇さんの講演会の様子です！

講師： 内山崇さん 宇宙航空研究開発機構
日時： 7月6日(火) 14:35~16:05 講演会・座談会
対象： 1・2年生全員、希望する同窓生・保護者へオンライン配信
場所： 関高体育館 演題： 「本気で宇宙をめざす」

◇ 講師紹介

2000年、東京大学大学院修士課程修了。(株)IHI入社。2008年、JAXAへ。第5期宇宙飛行士選抜試験ファイナリスト。宇宙輸送船「こうのとり」のフライトディレクターとして、2009年初号機から2020年最終9号機まで、国際宇宙ステーション輸送ミッションの9機連続成功に貢献。現在は、日本の有人宇宙開発をさらに前進させるべく新型宇宙船開発に携わる。「宇宙船よりコントロールの効かない2児」を相手に、子育て奮闘中。

◇ 当日の様子

宇宙エンジニアとしてご活躍中の内山崇さんをお招きして講演を開催しました。コロナ禍の中、当初はオンライン講演の予定でしたが、様々なご縁もあって、今回の講演につながりました(ご著書『宇宙飛行士選抜試験』に、関高校とのエピソードが紹介されています)。

講演の中心は、宇宙飛行士をめざしての選抜試験のお話でした。ファイナリストに選ばれながらも、あと一步で宇宙への夢に及ばなかった話、その過程での得難い経験や仲間とのつながり、JAXAのエンジニアとしてのその後…多くのことを語っていただきました。エピソードの数々が、いかに本校生徒に感銘を与えたかについては、このあとの感想文をお読みください。

生徒の代表との座談も盛り上がりました。宇宙開発事業とSDGsはどう関わるのか。地球外生命体はいるのか。本業と選抜試験に向けてのタイムマネジメントは…思いもよらぬ生徒の質問に、的確に対応する内山さんの姿には、一同、驚きを禁じ得ませんでした。

今回の催しは、関高校の創立百周年記念事業として行われ、希望する同窓生や保護者にはオンラインで配信しました。

◇ 参加した生徒の感想

■まず、あの有名なJAXAから関高校に講演に来てくださったことが、とても嬉しかったです。内山さんは、自身の夢のためにチャンスをつかみとり挑戦をしていました。僕にはまだ夢がありません。目標すら決まっていません。というより、興味のあることがありすぎて、どれを追いかけるか決めかねています。ですが、この講演を聞いて、興味のあることにはどんどん挑戦していこうと思うことができました。

■内山さんの話を聞いて、挑戦することが大事だと改めて感じました。内山さんは、宇宙飛行士になるという夢の実現のために航空宇宙学科に進み、たくさんの方のことを学んでいます。学んだからこ





そ夢を持つことにつながるし、それが自分の財産につながるんだと思いました。宇宙飛行士になるまでの審査を聞いて、難しいものだと思っていたけど、本当に過酷なんだなと感じました。私もやりたいことは迷わず挑戦していきたいと思います。

■宇宙自体が夢をはらんでいる世界であり、その中で内山さんが自身の夢を目標に変えようとするところに面白さを感じた。失敗は、何かを得る大きなものに変れば成功であり、内山さんご本人がそれを体現していて参考になった。また、内山さんへのイ

ンタビュー記事が増え、著書を出版されていることから、宇宙の重要性が高まってきていることを感じる。今後、私たちの将来に何かしらかわりがあるのだろうと想像しながら期待を膨らませた。

■全体の流れから考えて、座談会の打ち合わせはまったくできていないはずなのに、内山さんほどの質問にも臨機応変に対応してさすがだと思いました。また、挫折を前向きにとらえ良い方向にもっていくことの大切を教えてくださいました。

■内山さんは、幼い頃にもった宇宙や宇宙開発の技術への憧れを実現させようとしたところがすごいと思いました。夢を夢のまま終わらせず、行動を起こして努力し続ける姿は、自分の生き方を考える上でとても参考になりました。私には将来医師になるという夢があります。私にとってはハードルの高い夢で不安がありました。しかし今日の話聞いて、夢の実現のためにはどんなことが必要なのか、詳しく調べてみようと思いました。常に挑戦し続けて、これから夢に一つでも近づけるように頑張ろうと思います。



■宇宙の話が中心かなと思っていたら、内山さん自身の人生をたどりながら話していただいたので、自分の将来について考えるきっかけになりました。座談に出席した先輩も発言していましたが、内山さんが宇宙についてとても楽しそうにお話しされるので、聞いているこちらも宇宙についてもっと知りたくなりました。新しい開発事業のお話にも興味を持てたので調べてみようと思います。

■たとえ夢がかなわなくても、かなえようと努力する過程でたくさんものを得られるといった趣旨のお話をされていましたが、それが心に響きました。私には中学生の頃から就きたいと思っている仕事があります。しかしその職業についての知識はまだ浅く、その職業に就いて何をしたいのか、何ができるのか、ビジョンが描けていません。ですが、お話を聞いて、最終的には、夢をかなえようとする過程で、自分の本当にやりたいことが見つけられたらいいのではないかと思います。

■僕はまわりと比べて早くから将来の夢が決まっていたと思います。そのため、決まった方向からしか物事が見えていませんでした。要するに決めた夢の影響で、自分を固定させてしまっていたのです。僕は、内山さんと一緒に趣味がたくさんあります。だから、今回の講演を聞いて、夢を決めつけて自分の行動を縛りすぎるのはよくないのかなと思います。はじめました。

確かに早い段階で夢をもつことは、目標を決めずがむしやりにやるよりはいいと思います。けれど、見方を変えることで得られることもあると知ったので、もう少し自由に生きてみた

いなと思いました。

■今日の講演を聞いて、挑戦することの大切さを学びました。私はまだ明確な将来の夢は決まっていないけど、今から色々なことに挑戦して、将来の夢の幅を広げていきたいと思います。また、勇気を出して挑戦して一生懸命取り組んでも、思ったような結果が出ない時にもあると思います。そんな時でも、その悔しさをバネに前を向いてどんどん進んでいけるような人になりたいなと思いました。

■内山さんの話を聞いて、今後やりたいことやかなえたい夢について自分なりに考えることができました。自分は、夢をかなえるまでの道が遠いなと思い、できないのならあきらめようと思ったことが今までにありました。しかし、今回の話を聞いて、失敗や挫折を経験することも大切だと聞き、勇気が出ました。挑戦する気持ちを大切にしていきたいと思います。

■夢が今なくてもいいんだと思った。逆に、ないからこそこれからの可能性は無限大だと思った。自分は夢がないから不安だったけれど、今回の話を通して少し気が楽になった。

■今、勉強と部活動の両立が厳しいと感じていて、この状態からさらにいろいろなことに挑戦するのはやめようかなと思っていました。しかし、内山さんのように、本業とやりたいことをどちらもやることで、新しい発見や、人生の財産とまでいえる経験をすることができたら素敵だなと思えました。だから挑戦していこうと思いました。

■惜しくも宇宙飛行士になれなかったものの、宇宙飛行士のそばで仕事を続けられるのは嬉しいとおっしゃっていたのを聞いて、とてもポジティブな人なのだなと思いました。僕も今はまだこれといった夢はないけれど、挑戦したいことはたくさんあります。自分の夢をさがしていきたいです。

■働きながら宇宙飛行士の勉強もして、ファイナリストに選ばれたことがすごいと思いました。また、ファイナリストに選ばれた10名の仲間がいて、今もその人たちがいるから頑張れるということに共感しました。私も、関高に来て、一緒に頑張ってくれる仲間がいるから勉強にも頑張れているんだなと思いました。これからもそうした仲間を大切にします。

■内山さんの「広大な宇宙の中で、地球以外に生命の歴史がないと考えることがおかしい」という言葉がすごく印象に残りました。私たちが生まれる何億年も前に、はるか遠いどこかに、私たちのような生命体が文明をつくったかもしれないということは、よく考えてみればおかしいことでもないなと思います。自分は、宇宙に対して少し恐怖感を感じていたのですが、別の惑星で、私のように自分たち以外の生命体を怖がっている別の生命体がいると考えると、宇宙に対する恐怖心も和らぎました。

■地球外生命体の話で、私は惑星環境や資源等の問題で、地球以外に生命体はいないと思っていたけれど、内山さんの「現在いるかもしれないし、過去にいたかもしれないけど、宇宙の長い歴史を考えると、時代が重ならなくて私たちと遭遇できないだろう」という意見を聞いて、私の中にはまったくなかった意見だけど、とっても納得できるし、実際そうなのかもしれないと思い、普段から宇宙について考えている人はいろいろな観点から見ていてすごいと思いました。

